

2019年5月17日
東海旅客鉄道株式会社

リニア・鉄道館 N700系車両の展示について ～初めて屋外に新幹線車両を展示します！～

リニア・鉄道館は、東海道新幹線を中心に「高速鉄道技術の進歩」を紹介する展示施設として、2011年3月にオープンし、2019年4月までに来館者が累計485万人を超えました。

現在、当館では初代新幹線の0系をはじめ、歴代の新幹線を6形式10両展示していますが、7月17日（水）より7形式目となる「N700系量産先行試作車」3両を新たに展示しますのでお知らせします。



試験中のN700系量産先行試作車



展示イメージ

1. N700系量産先行試作車（X0編成）の特長

- ・700系の次世代車両として、さらなる高速性と快適性、環境性能の向上を目指して、日本の新幹線で初めての「車体傾斜システム」などの試験を実施するために2005年3月に導入しました。
- ・2007年7月のN700系の営業運転開始後は、東海道新幹線の時速285キロへのスピードアップに向けた試験など、累計約130万キロの試験走行を行いました。また、2009年9月には時速330キロの速度向上試験を実施しています。
- ・N700S確認試験車の導入に伴い、2019年2月に試験車両としての役割を終えました。

2. 展示の概要（別紙）

- ・N700系量産先行試作車X0編成16両のうち、1号車・8号車・14号車の3両を屋外に展示します。
- ・これまで屋外に展示していた車両と同様、常時車内の見学ができるほか、飲食も可能です。
※これまで屋外に展示していた117系電車は、3両のうち1両を収蔵車両エリアに移設して展示し、残る2両は展示を終了します。

※写真・イラストは全てイメージです。

